

●白内障手術を体験

■白内障の診断までの経緯：

「高齢者講習」という1枚のはがきが来ました。これは70歳以上の高齢者が免許証を更新する前に必ず受けなければならない講習のことです。映像視聴と講義、視力検査、実車の3つからなっています。近くの自動車教習所で行われますが、予約が必要です。この予約がなかなか取れなくて大変でした。講義と実車は問題ありませんでしたが、視力に難あって、近所の眼科クリニックを受診しました。診察予約をとっていたのですが、検査と待ち時間で3時間かかってしまいました。眼鏡の処方箋を発行してもらう程度の軽い気持ちで受診したのですが、白内障で手術をした方がいいといわれました。紹介状を書いてもらい、大口東総合病院眼科を受診しました。

■入院まで：

尿管結石、前立腺生検に続いて3回目の入院となります。

- 1) まず手術日を決め、それに間に合うように術前検査を行います。
- 2) 検査終了後に主治医より現在の眼の状態、手術方法、眼内レンズの選択などの説明を受けます。
- 3) 手術承諾書などのたくさんの書類の署名捺印をしておきます。
- 4) 入院5日前より抗生剤の点眼を1日4回行います。
- 5) 入院3日前にPCR検査を提出します。

■手術：

- 1) 手術当日朝に入院し午後手術、翌日診察の後、問題がなければ退院となります。
- 2) 最初は右眼、1週間後に左眼を手術します。
- 3) 病室で散瞳薬、局所麻酔薬の点眼を行い入室です。痛みは全くなく15分程度で手術は終わりました。
- 4) 術後は病室で過ごし、夕食、就寝です。
- 5) 手術翌日に視力測定・診察そして帰宅後の注意と点眼薬の説明を受けます。

■退院：

- 1) 手術をした右眼の感染予防と炎症を抑える点眼薬が3種類、翌週の左眼の点眼薬1種類を点します。右眼の3種類が大変です。点す順番を決めておいて、5分間隔で点します。
- 2) 感染予防のため、手術をしてから5日間は洗顔、洗髪はできません。また無意識のうちに眼をこすらないように眼帯をして就寝します。
- 3) 退院翌々日に外来診察を受けます。
- 4) 右眼の手術から1週間後に左眼の手術を受けます。

■眼はどうなったか：

- 1) 濁った水晶体が取り除かれ、新しい眼内レンズが入りますので景色はとても明るくなります。
- 2) 私の場合は多焦点眼内レンズを選択したため、車の運転も仕事も眼鏡はつけていませんが、保護メガネをつけています。視力が安定するまでにはしばらくかかるということでした。

■感想：

生活習慣病などのチェックはもちろんのこと、眼科での白内障・緑内障のチェックと歯の健診は高齢者にとってとても大事なことです。今回は検眼のつもりで受診した眼科で白内障を指摘され、手術をしました。加齢とともに足腰が弱くなり、さらに眼が不自由になると日常生活が不便で危険な状態になります。年に1度は内科、眼科、歯科を受診しましょう。最初は不安でしたが、手術をしてよかったです。